

雑がみを分別し、資源ごみとして出しましょう

雑がみとは、「新聞」「ダンボール」「紙パック」「雑誌」以外のリサイクルできる雑多な古紙のことで、多くの雑がみが燃えるごみとして出されています。

うっかり燃えるごみに捨ててしまいがちですが、分別して「資源物」として出せば、新たな製品に生まれ変わります。

燃えるごみ減量のため、雑がみの回収にご協力をお願いいたします。

雑がみの例

品名	注意事項	品名	注意事項
衣料品類の台紙・値札		ティッシュペーパーの箱	ビニール部分は取り除く
色紙・折り紙	金・銀のものは燃えるごみへ	手帳・スケジュール帳	
お菓子・食品の箱		トイレトペーパーの芯	
カタログ		ノート	金属部分がある場合は取り除く
紙袋	雑がみをまとめる袋にご利用ください	はがき	圧着はがきは燃えるごみへ
画用紙		パンフレット	
カレンダー	金属やプラスチックを取り除く	封筒	窓付きのものは取り除く
薬の箱	匂いが染みついた箱は燃えるごみへ	ふせん	プラスチック系は燃えるごみへ
靴の箱		包装紙	セロハンテープやシールは取り除く
コピー用紙		ポスター	
広報誌		メモ用紙	
ダイレクトメール	ビニール部分は取り除く	ラップの芯・箱	刃の部分は取り除く

資源回収できないもの(禁忌品) 燃えるごみの日に市指定袋に入れ、
ごみステーションへ出してください

- 粘着物の付いた封筒や圧着はがき(開くときはがして見るもの)
- 防水加工してある紙(紙コップや紙皿など) ○油紙
- 金や銀の光っている文字のある紙 ○青焼きコピー紙
- 合成紙(プラスチック製品で紙ではないもの)
- アイロンプリント紙(布地に加熱してマンガなどをプリントするもの)
- 熱を加えると発泡する紙(点字などに利用されるもの)
- 熱で文字をあらわす紙(ファックス用紙、レシートなど)
- 複写伝票などの裏カーボン紙、ノーカーボン紙
- プラスチックフィルムやアルミ箔がはってある紙
- 匂いの付いた紙(洗剤や線香の紙箱など)
- 水にぬれた紙、油のついた紙、使い終わったティッシュペーパー、汚れた紙など



出し方

【大きいもの】

- ・束ねてひもでしばる



【小さいもの】

- ・紙袋や大きな封筒などに入れてひもでしばる
- ・雑誌の間に挟みまとめてひもでしばる

